

グローバル人権および現代奴隷制に関する方針

はじめに

キンドリルは、ミッションクリティカルなエンタープライズ・テクノロジー・サービスのリーディングプロバイダーであり、60カ国以上で数千にのぼる企業のお客様に、アドバイザリー、インプリメンテーション、マネージドサービスを提供しています。世界最大のITインフラストラクチャーサービスプロバイダーとして、世界中で日々利用されている複雑な情報システム的设计、構築、管理、モダナイズを行っています。私たちは、企業が大きなテクノロジーの変化を乗り越える支援において長年の実績を有しています。特に、こうした変革の過程において、お客様が自社ビジネスの中核に集中できるようにしつつ、最も重要なシステムを安心して任せただけの体制を提供してきました。キンドリルの目的は、お客様のニーズに応える安全で俊敏なプライベート、パブリック、及びマルチクラウド環境を設計・構築・運用し、デジタル変革の加速を支援することです。

私たちは、クラウド、コアエンタープライズ & zCloud、アプリケーション、データ & AI、デジタルワークプレイス、サイバーレジリエンシー、ネットワーク & エッジ、さまざまな分野でサービスを提供しています。技術の変化を通じてお客様をサポートし続けています。

詳細については、www.kyndryl.comをご覧ください。

方針の適用範囲

私たちの人権および現代奴隷制に関する方針は、事業運営全体におけるすべてキンドリルの従業員およびサプライヤーに適用されます。また、これらの方針およびベストプラクティスを、顧客およびパートナーから成るエコシステムと共有しています。

コミットメント

私たちは、倫理的な事業慣行にコミットしており、尊重し、保護することに努めています。市民的、文化的、経済的、政治的、個人的、および社会的な、事業、提供物、サービス、関係全体における、すべての人々の人権を対象としています。また、顧客、サプライヤー、パートナー、従業員から成るエコシステムとベストプラクティスを共有しています。

キンドリルは、世界のいかなる地域においても人権侵害を一切容認せず、現代奴隷制や人身取引に関与する組織との取引を回避することを約束します。私たちはサプライチェーンに関与する関係者による人権侵害およびそれへの加担を、強制労働や児童労働、債務拘束を含む拘束労働、年季奉公、不本意な刑務所労働、隷属状態、または人身取引を含め、積極的に回避するよう努めます。

私たちは世界のいかなる地域においても、建設的な従業員との対話および労使関係の維持にコミットしています。結社の自由を保護し、従業員が労働組合に加入する権利を確保するため、適用されるすべての法令を完全に遵守します。従業員が相談および対話を行うための手段を確保します。

私たちは複数の国において、国内および欧州レベルで、従業員代表と経営陣との間の対話および協議を促進する代表機関を設置しています。

指針

私たちの人権へのコミットメントは、以下を含むグローバルな基準に基づいています。国際人権規約は、世界人権宣言、市民的及び政治的権利に関する国際規約、経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約、並びに国際労働機関(ILO)の労働における基本原則及び権利に関する宣言https://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---ed_norm/---declaration/documents/normativeinstrument/wcms_716594.pdf%22%20/t%20%22_blankから成ります。

私たちの事業およびオペレーションにとって重要な取り組みに重点を置くため、人権に関する行動は、国連のビジネスと人権に関する指導原則 (UNGPs) および OECD多国籍企業行動指針 (責任ある企業行動) に基づいています。

人権に対応する方針

キンドリルは、労働、労働安全衛生、地域社会との関与、及び児童労働に関する企業行動を規律するための方針を定めています。

私たちのグローバル雇用基準およびプロセスは、自由意思に基づく雇用、賃金、福利厚生、労働時間、ハラスメント、尊重と尊厳、安全な労働環境、倫理的な取引、プライバシー、その他の雇用に関する要素に関して、適用されるすべての法令を遵守することを支援します。これらは キンドリル行動規範 に定められています。

私たちのバリューチェーンにおける権利を保護するための追加の方針およびアプローチには、キンドリルにおける責任あるAIに関するアプローチ、ならびに キンドリルプライバシーステートメント が含まれます。

私たちは、責任あるビジネス同盟(RBA)の関連署名メンバーとして、サプライヤーに対し、奴隷制および人身取引に関する法令の遵守を証明すること、強制労働やあらゆる形態の人身取引の直接的または間接的な使用を行わないこと、ならびにサプライチェーンがこれらの課題に、現地法および 責任あるビジネス同盟行動規範 (RBAコード) に沿って対応していることを確認することを求めています。また、サプライチェーン、労働、労働安全衛生、環境、倫理に関する社会的責任リスクへの対応において、RBAコードを活用しています。

ガバナンス、説明責任およびリスク管理

私たちの人権および現代奴隷制に関する方針のアプローチおよび管理基準は、グローバルに適用されており、事業運営およびサプライチェーン全体に人権尊重を組み込むことを目的として

います。人事、調達、法務を含む部門横断的なチームが、外部ステークホルダーの支援を受けながら、これらの方針を策定しています。キンドリルの従業員、サプライヤー、パートナー、および顧客は、私たちの人権に関するコミットメントを尊重し、遵守し、推進することが求められます。

キンドリルのグローバルシチズンシップおよびサステナビリティ責任者が、人権および現代奴隷制に関する私たちの取り組みを統括しています。この取り組みには、キンドリルの施策に関する年次レビューおよび、進化する業界標準の継続的なモニタリングが含まれます。

グローバルシチズンシップおよびサステナビリティ責任者は、キンドリルのコーポレートシチズンシップ執行委員会の委員長を務めるコーポレートアフェアーズグローバル責任者に報告します。同委員会は、CEO、COO、CHRO、CFO、ゼネラルカウンセル、法務担当バイスプレジデント、ならびにキンドリルのグローバルリーダーであるKinship@Kyndryl担当バイスプレジデントで構成されています。同委員会は、キンドリルのコーポレートシチズンシップに関するガバナンスの一環として、業績および進捗を定期的にレビューし、施策を承認し、提言を行います。

リスクの特定

キンドリルにおいて、人権および現代奴隷制に関するリスクは、拡張された上流のサプライチェーンに存在します。これらのリスクへの対応は、エンタープライズリスクマネジメント

(ERM) プログラムを通じて実施しており、人権および現代奴隷制を含む半期ごとのリスク評価を行っています。2024年に実施したERM評価では、私たちの事業運営において、人権または現代奴隷制に関する影響は特定されませんでした。

影響分野

ITインフラストラクチャーサービスプロバイダーとして、キンドリルの人権および現代奴隷制の管理は、私たちの事業を支える従業員およびサプライヤーに依存しています。キンドリルのサービスは、事業を展開する地域のステークホルダーおよびコミュニティに影響を及ぼします。

私たちは、事業運営およびバリューチェーン全体における潜在的なリスクの特定を目指しています。私たちはコミットメントを果たすため、以下の潜在的な影響分野を認識しています。

私たちの事業と従業員：人権および現代奴隷制の課題に対応する指針、方針、および基準は、従業員とマネジメントとの間に前向きな関係を促進し、相互の尊重と支援の文化を醸成するための重要な要素です。

キンドリルのすべての従業員は、キンドリル行動規範プログラム（研修および認証）を毎年修了することが義務付けられています。

私たちのお客様：2024年にキンドリルにおける責任あるAIに関するアプローチを公開しました。このアプローチには、透明性、バイアスの検出および低減、プライバシーと機密性、安全性、説明責任、ならびにトレーニングが含まれます。

私たちの[キンドリルプライバシーステートメント](#)では、情報の収集、使用、および共有の方法を明示しており、お客様が自らのデータを管理できるよう支援しています。

私たちのサプライヤー：サプライヤーと責任を共有し、サプライヤーが事業を行う地域の労働者およびコミュニティを保護します。サプライチェーンに関わるすべての人が、尊重と尊厳をもって扱われることを確保することを目指しています。サプライヤーには、すべての雇用関連法令を遵守し、人権を尊重し、人権および現代奴隷制に関する悪影響に対処するための措置を講じることを求めています。これには、強制労働および児童労働、労働時間、賃金および福利厚生、結社の自由、労働安全衛生、環境責任、ならびに倫理的慣行に対応する労働基準の維持が含まれます。私たちは、これらの期待事項を明確にするため、[RBA行動規範](#)を活用しています。

サプライヤーのオンボーディング期間中、キンドリルは、サプライヤーの業界に適用される範囲で、責任あるビジネス同盟（RBA）行動規範への準拠に向けて取り組み、継続的に遵守することをサプライヤーに求めています。このコミットメントは、次のいずれかの方法により正式化されます。（1）サプライヤーがRBAレター契約に署名すること、（2）サプライヤーが倫理および誠実性に関する合意書に署名すること、または（3）サプライヤーの業界に適用される要素について、RBA行動規範と同等またはそれを上回る行動規範を有していることをサプライヤーが示すこと。

デューデリジェンス

RBA行動規範に基づく監査およびサプライヤーによる自己評価アンケートは、遵守状況を確保するため、追跡およびモニタリングされています。グローバルなRBAリスク分析ツールを使用して、高リスク国を評価しています。サプライヤーがサプライヤー管理基準に違反した場合、キンドリルは、取引機会の制限や取引からの除外を含む是正措置を講じることがあります。

報告および透明性

人権および現代奴隷制に関して、透明性をもって公表・報告することにコミットしており、コミットメントの進化に向けて、引き続き取り組みの評価を行っています。

人権および現代奴隷制に関する年次更新情報は、[ユーポレートシチズンシップレポート](#)および、キンドリルの国別ウェブサイトにおいて、必要に応じて公開しています。対象国には、[オーストラリア](#)、[カナダ](#)、[ノルウェー](#)、および[イギリス](#)が含まれます。

懸念事項の報告方法

キンドリルは、最高水準の誠実性をもって行動し、適用されるすべての法令および規制を遵守することに努めています。私たちは、従業員、顧客、サプライヤー、パートナー、ならびに私たちと関わるその他の関係者に対し、疑わしい違法行為または非倫理的行為、ならびに、[キンドリル行動規範](#)、本人権および現代奴隷制に関する方針、その他のキンドリルの方針または声明に対する潜在的な違反について、報告することを求めています。

ステークホルダーが懸念事項を報告できるよう、私たちは報告を奨励するとともに、複数の確立された報告チャネルを提供しています。すべての報告は機密として取り扱われ、法令で認め

られる場合には匿名での報告も可能です。キンドリルは、善意に基づいて不正行為または不適切な行為の可能性を報告したこと、あるいは調査に協力したことを理由とする、いかなる報復の脅しや行為も禁止しています。

必要に応じて、報告内容は適切なキンドリルの調査機能によって審査および調査され、状況に応じた懲戒措置が講じられます。

24時間年中無休の報告メカニズム

- キンドリルの[懸念事項報告ポータル](#)を通じてオンラインで
- 第三者による、多言語対応の国別フリーダイヤル[ホットライン電話番号](#)を通じて
- サイバーセキュリティ関連のインシデントは、[サイバーセキュリティインシデント対応チーム \(CSIRT\)](#) に報告してください

改善および進捗

私たちは、人権および現代奴隷制に関するアプローチについて、執行委員会レベルで年次レビューを実施し、ERMプロセスを通じてリスクを評価するとともに、進化するベストプラクティス、業界規範、および法的要件を反映するよう、オペレーション上の取り組みを継続的に改善することにコミットしています。

方針の公開

この方針は、Kyndryl.com上の[非財務ESG開示ハブ](#)、として社外に公開されているほか、全世界の従業員が利用可能な社内コミュニケーションチャンネルを通じても提供されています。

方針レビュー/更新	承認者
2025年7月25日	 Faith Taylor (グローバルシチズンシップおよびサステナビリティ責任者)